

令和 7 年度 南区地域福祉アクションプラン 分野別計画 進行管理表

- 児童・子育て支援 . . . 1 ~ 2
- 障がい者福祉 3
- 高齢者福祉・介護支援 . 4 ~ 5
- 地域づくり 6 ~ 7

分野別計画 子ども・子育て支援

基本目標 安心して産み子育てできるまち

〔評価の指標〕 A. 目標を達成（概ね90%以上） B. ほぼ達成（概ね75%以上） C. 一部達成（概ね50%以上） D. ほとんど実施せず

目標	具体的な取り組み・事業	概要	担当部署	令和6年度(実績)	令和7年度計画	令和7年度実績	評価	コメント・課題等	備考
(1) 妊娠期からの切れ目ない支援									
	多様な手法による子育て情報の発信	各種健診や、育児相談会、訪問等の機会を利用し、子育てに関する情報を発信する。	健康福祉課	股関節検診 6回 1歳歯科健診 8回 1歳0か月児健診 10回 3歳児健診 12回 育児相談会 12回 新生児訪問 全戸	股関節検診 6回 1歳歯科健診 7回 1歳0か月児健診 8回 3歳児健診 12回 育児相談会 12回 新生児訪問 全戸				
	子育て中の保護者同士の交流促進、ネットワークづくり	子育て支援リーダーによる子育て広場や、子育て支援プログラムを開催し、保護者同士が交流できる場を提供する。	健康福祉課	子育て広場 55回 延べ938人 BP(親子の絆づくり) 4回27人 BP2(きょうだいがうまれた) 2回16人 NPI(子育て支援) 1回 4人 屋外交流会 1回11家族	子育て広場 50回以上 延べ730人 屋外交流会 1回10家族 乳児期家庭教育学級 2講座 24組				
	訪問・相談事業の強化	子育てほっとステーションのマタニティナビゲーター等による相談対応や保健師や助産師等が訪問により支援を行う。	健康福祉課	マタニティナビゲーターと保健師による産婦への全数連絡 保健師、助産師等による全戸訪問	マタニティナビゲーターと保健師による産婦への全数連絡 保健師、助産師等による全戸訪問				
	支援の必要な妊産婦への支援	母子手帳交付時からの相談対応、状況把握により支援の必要な人へ妊娠前から子育てまで継続的に支援を行う。	健康福祉課	母子ケース検討会 12回 要支援者への全数連絡	母子ケース検討会 12回 要支援者への全数連絡				
(2) 地域で支えるゆとりある子育てへの支援									
	子育て中の保護者同士の交流促進、ネットワークづくり(再掲)	子育て支援リーダーによる子育て広場や、子育て支援プログラムを開催し、保護者同士が交流できる場を提供する。	健康福祉課	子育て広場 55回 延べ938人 BP(親子の絆づくり) 4回27人 BP2(きょうだいがうまれた) 2回16人 NPI(子育て支援) 1回 4人 屋外交流会 1回11家族	子育て広場 50回以上 延べ730人 屋外交流会 1回10家族 乳児期家庭教育学級 2講座 24組				
	地域住民全体で子どもを育む意識の向上	子育て支援リーダーによる各地域での自主的な子育て広場の開催や、子育て支援リーダー活動報告会での地域住民との意見交換により情報共有を図る。	健康福祉課	子育て広場 55回 支援リーダー活動報告会 1回	子育て広場 50回以上 支援リーダー情報交換会 1回				
	子育て中の親子の居場所の確保	子育て支援リーダーによる子育て広場を開催し、子育て中の親子が気軽に利用できる居場所を提供する。	健康福祉課	子育て広場 55回 延べ938人	子育て広場 50回以上 延べ730人				

分野別計画 子ども・子育て支援

基本目標 安心して産み子育てできるまち

〔評価の指標〕 A. 目標を達成（概ね90%以上） B. ほぼ達成（概ね75%以上） C. 一部達成（概ね50%以上） D. ほとんど実施せず

目標	具体的な取り組み・事業	概要	担当部署	令和6年度(実績)	令和7年度計画	令和7年度実績	評価	コメント・課題等	備考
	子育て支援リーダー、ボランティアの育成と活動の支援	子育て支援リーダーを育成支援することにより活動の充実を図る。	健康福祉課	子育て支援リーダー 24人 スキルアップ研修 8回	子育て支援リーダー 24人 スキルアップ研修 7回				
	ファミリー・サポート・センターによる子育て世帯の支援	地域社会で子育てを支え合うファミリー・サポート・センターについての周知を行う。	社会福祉協議会	広報誌掲載 1回 関係機関への周知 1回	広報誌掲載 1回 関係機関等への周知 1回				
(3)子育て支援施設の充実									
	子育て中の親子の居場所の確保（再掲）	子育て支援センター及び児童センター・児童館を運営し、子育て中の親子が気軽に利用できる居場所を提供する。	健康福祉課	白根つくし園利用者数 4,516人 児童館・児童センター利用者数 106,505人	白根つくし園利用者数 前年度以上 児童館・児童センター利用者数 前年度以上				
	児童館・地域子育て支援センターによる子育てネットワークの構築	各児童館による運営協議会や子育て支援センター会議を通じ、情報共有・意見交換を行い、関係機関のネットワークを構築・強化する。	健康福祉課	児童館運営協議会 各館2回 支援センター会議 3回	児童館運営協議会 各館2回 支援センター会議 3回				

分野別計画 障がい者・生活困窮者支援

基本目標 障がいのある人もない人も安心して暮らせるまち

〔評価の指標〕 A. 目標を達成（概ね90%以上） B. ほぼ達成（概ね75%以上） C. 一部達成（概ね50%以上） D. ほとんど実施せず

目標	具体的な取り組み・事業	概要	担当部署	令和6年度(実績)	令和7年度計画	令和7年度実績	評価	コメント・課題等	備考
(1) 福祉サービス利用の相談体制充実									
	基幹相談支援センターの充実	関係する専門機関が情報を共有し、相談する人の立場に立った相談や情報提供ができるよう相談支援体制を推進していく。	健康福祉課	関係機関合同研修会 1回 相談支援事業所連絡会 2回	関係機関合同研修会 1回 相談支援事業所連絡会 1回 グループホーム連絡会 1回				
	多様な手法による障がい福祉制度の周知	機関紙や研修会などを利用し相談窓口の周知を図る。	健康福祉課	区だより掲載 1回 社協だより掲載 1回 関係機関合同研修会で周知 障がい者地域自立支援協議会 についてホームページに掲載	区だより掲載 1回 社協だより掲載 1回 関係機関合同研修会で周知 障がい者地域自立支援協議会 についてホームページに掲載				
(2) 障がいのある人と地域との交流									
	民生委員・児童委員、地区社会福祉協議会や地域コミュニティ協議会及びその他の団体との連携強化	地域で行われているまつり等のイベントや福祉活動の取り組みの際に障がいのある人も積極的に参加できるよう、団体と連携を図る。	社会福祉協議会	7地区で実施	7地区で実施				
	障がいの理解のための講座、研修会の開催	子どもたちや地域の人たちに障がいに対する理解を深めるために講座や研修会を開催する。	社会福祉協議会	地区社協 1回 小中学校での福祉学習26回 公共機関1回	地区社協 1回 小中高での福祉学習20回				
(3) 自立支援体制の充実									
	南区障がい者地域自立支援協議会の運営	協議会を開催し、地域での課題整理、解決に向けた検討を行う。	健康福祉課	南区障がい者地域自立支援協議会 4回	南区障がい者地域自立支援協議会 4回				
	南区地域福祉ネットワーク会議の運営	関係機関と情報を共有し、新たな社会資源の利用について検討する。	社会福祉協議会	会議2回開催	会議2回				
	民生委員・児童委員、地区社会福祉協議会や地域コミュニティ協議会及びその他の団体との連携強化（再掲）	研修会を開催し課題解決に向け情報の共有を図る。	健康福祉課	関係機関合同研修会の開催	関係機関合同研修会の開催				
	生活困窮者の就労支援	ハローワーク新津と連携し、経済的な自立に向けた就労支援を行う。	健康福祉課	就労支援対象者 12人 就職者 5人（42%）	就労支援対象者のうち、就職者数の割合50%				
	生活困窮者の相談支援	相談者に対して他機関と連携しながら、生活困窮者自立支援制度の各事業を活用し、支援を行う。	健康福祉課	新規相談件数66件。 各事業活用21件（32%）。	随時				
	生活困窮者などの支援会議の運営	生活困窮者等への支援について専門職が連携してより良い支援ができるようにネットワーク作りを行う。	健康福祉課	南区支援会議を1回開催	会議 1回				

分野別計画 高齢者介護者支援・健康寿命の延伸

基本目標 高齢者も安心して暮らせるまち

〔評価の指標〕 A. 目標を達成（概ね90%以上） B. ほぼ達成（概ね75%以上） C. 一部達成（概ね50%以上） D. ほとんど実施せず

目標	具体的な取り組み・事業	概要	担当部署	令和6年度(実績)	令和7年度計画	令和7年度実績	評価	コメント・課題等	備考
(1) 高齢者・介護者を見守り支え合うしくみづくり									
	地域全体で高齢者を見守る体制の構築	ふれあい・いきいきネットワーク事業や配食サービスを通じて、地域住民による高齢者への見守り活動を推進・支援する。	健康福祉課 社会福祉協議会	ふれあい・いきいきネットワーク事業 活動団体数 なし 配食サービス利用者数 39人 (旧白根21人、味方・月湯18人)	ふれあい・いきいきネットワーク事業の推進 配食サービス利用者の定期的な安否確認				
	支え合いのしくみづくりの深化・推進	地域住民同士による支え合い・助け合いの活動を支援する。	健康福祉課 社会福祉協議会 支え合いのしくみづくり会議及び推進員	地域の茶の間新設数 1か所 区、圏域のしくみづくり会議等開催回数 14回 共に生き支え合う南区地域福祉フォーラムとして開催 参加者数 120人	地域の茶の間の新設など活動推進 区、圏域のしくみづくり会議等の開催 支え合いのしくみづくりフォーラムの開催 200人				
	高齢者の総合相談窓口「地域包括支援センター」の周知	高齢者・介護者への支援体制を周知する。	健康福祉課 地域包括支援センター	区だよりにより月1回記事掲載 出張相談 3包括合同で7回開催	区だより連載記事の継続 出張相談の開催 7回以上				
	地域ケア会議を活用した関係機関のネットワーク構築	区及び圏域ごとのケア会議を開催する。	健康福祉課 地域包括支援センター	各ケア会議の開催 区 1回 圏域 4回	各ケア会議の開催 区 1回 圏域 4回				
(2) 認知症対策と在宅医療に対する理解の推進									
	地域全体で高齢者を見守る体制の構築（再掲）	ふれあい・いきいきネットワーク事業や配食サービスを通じて、地域住民による高齢者への見守り活動を推進・支援する。	健康福祉課 社会福祉協議会	ふれあい・いきいきネットワーク事業 活動団体数 なし 配食サービス利用者数 39人 (旧白根21人、味方・月湯18人)	ふれあい・いきいきネットワーク事業の推進 配食サービス利用者の定期的な安否確認				
	地域ケア会議を活用した関係機関のネットワーク構築（再掲）	区及び圏域ごとのケア会議を開催する。	健康福祉課 地域包括支援センター	各ケア会議の開催 区 1回 圏域 4回	各ケア会議の開催 区 1回 圏域 4回				
	認知症の理解を深め、介護者を支える地域づくり	認知症の正しい知識の普及・啓発及び認知症高齢者やその介護者に対して見守り支援を行う。	健康福祉課 地域包括支援センター NPO法人	区だより掲載 認知症カフェ記事 毎月 認知症特集記事 9月 認知症テーマとする関係者会議開催 1回 認知症サポーター養成講座開催 13回	認知症カフェ周知のための区だよりへの定期掲載や特集記事の掲載 家族介護教室 1回 認知症サポーター養成講座開催 9回以上				
	認知症予防出前講座の開催	認知症予防について研修を受けた運動普及推進委員が、地域の茶の間等で出前講座を開催する。	健康福祉課	5会場282人に実施	地域からの依頼に応じて実施				
	在宅医療の普及・啓発	保健医療福祉の関係機関と共催し、在宅医療について啓発するための講演会を開催する。	健康福祉課	関係機関と共催し、講演会1回開催（参加者数172人：来場141人、WEB31人）	在宅医療ネットワークとの協働と課題共有、市民への啓発				
(3) 健康寿命の延伸									
	特定健診とがん検診が一緒に受けられるミニドック型集団健診を実施する。		健康福祉課	10月24・25日の2日間で112人	10月23・24日にミニドック型集団健診を実施し、過去3年の平均値以上の受診者数を目指す。（122人）				

分野別計画 高齢者介護者支援・健康寿命の延伸

基本目標 高齢者も安心して暮らせるまち

〔評価の指標〕 A. 目標を達成（概ね90%以上） B. ほぼ達成（概ね75%以上） C. 一部達成（概ね50%以上） D. ほとんど実施せず

目標	具体的な取り組み・事業	概要	担当部署	令和6年度(実績)	令和7年度計画	令和7年度実績	評価	コメント・課題等	備考
	健康寿命延伸に向けた取り組みの実施	誰もが取り組みやすい「はかろう体重！あるこう南区！大作戦」を実施する。	健康福祉課	カード配布 9,891枚 カード提出 716枚 カード提出者のうち「初めて参加した」88人 「歩数増加した」47%	カード配布 10,000枚 カード提出 1,000枚 カード提出者のうち「初めて参加した」人と「歩数増加した」人が前年度より増える				
		運動や食事など各分野の健康づくり講座を実施する。	健康福祉課	健康づくりに関する講座等の参加者 ・食育講座：8回188人 ・運動講座：ウォーキング講座3回44人 ・糖尿病相談会：実7人、延11人	健康づくりに関する講座等の参加者 ・食育講座：案内の9割以上 ・運動講座：定員の9割以上 ・糖尿病相談会：電話または来所による2回以上の継続相談者の増加				
	地区の健康づくり活動の推進	各地区の状況に合わせた活動を通し健康づくりに関する周知啓発を行う。	健康福祉課	フレイルや健康寿命延伸を通常のテーマにし、ほか季節ごとのテーマを取り入れた。延32回、27団体に実施した。	フレイルや健康寿命延伸を通常のテーマにし、ほか季節ごとのテーマを取り入れる。全地区（コミ協単位）で実施する。				

分野別計画 地域づくり

基本目標 私たちが支えあい、助けあうまち

〔評価の指標〕 A. 目標を達成（概ね90%以上） B. ほぼ達成（概ね75%以上） C. 一部達成（概ね50%以上） D. ほとんど実施せず

目標	具体的な取り組み・事業	概要	担当部署	令和6年度(実績)	令和7年度計画	令和7年度実績	評価	コメント・課題等	備考
(1)地域のボランティアや福祉活動の情報発信と活動支援									
	白根健康福祉センターをボランティア活動の拠点として活用	拠点利用するための情報提供を、ボランティア情報誌への掲載やボランティア相談を受ける中で随時行う。	社会福祉協議会 健康福祉課	相談随時	相談随時				
	ボランティア情報誌の発行	災害ボランティアセンターや福祉教育、ボランティア・市民活動に関する情報誌を発行する。	社会福祉協議会	2回 (うち1回は社協だよりとの合併号による全戸配布)	2回 (うち1回は社協だよりとの合併号による全戸配布)				
	ボランティアの情報集約とネットワーク化	ボランティア・市民活動センター運営委員会を開催し、情報集約とネットワーク化の基盤づくりを進める。	社会福祉協議会	2回	2回				
	ボランティア養成講座の開催と活動の場の紹介	受援力を強化するボランティア養成講座等を開催することで、活動の場を広げ、その場を紹介する。	社会福祉協議会	3回	4回				
	総合的な学習の時間をはじめとした福祉教育の充実	体験する福祉教育に加え、当事者やボランティアに協力いただき、「ともに生きる」ための福祉教育の充実を図る。	社会福祉協議会	38回	30回				
	ボランティア交流会の実施	モチベーションのアップや活動者同士の情報交換のための交流会を開催する。	社会福祉協議会	2回	2回				
	ボランティア活動支援	活動に伴う相談支援、活動を安定的に行うための助成金申請の支援を行う。	社会福祉協議会	活躍の場づくり 6件 助成金申請 1団体	活動支援 3団体 助成金申請 2団体				
	災害ボランティアの育成	災害ボランティアセンター設置訓練及び地域で開催する防災学習会を開催する。	社会福祉協議会	訓練 1回 学習会 4回 災害ボラセン検討委員会7回 西区災害ボラセン対応：防災士、白根JC.ボランティア、職員	訓練 1回 学習会 8回 災害ボラセン検討委員会6回				
(2)地域の茶の間・ふれあいきいきサロン活動の支援									
	地域の茶の間の交流会の開催	地域の茶の間など運営団体同士で情報交換し、課題の解決につなぎ、また、運営者のモチベーションの維持にもつなげるため、交流会を開催する。	社会福祉協議会	1回	1回				
	地域の茶の間の運営のための研修会の開催	地域の茶の間などの運営に役立つ内容や事務手続きに関する研修会等を開催する。	社会福祉協議会	相談会1回 3~4月に3日間程度予定	相談会1回 申請様式など変更など必要に応じて研修会を開催				
	地域の茶の間の活動紹介や内容メニューの冊子作成	支え合いのしくみづくり推進員と協働で社会資源ファイル（冊子）を作成する。	社会福祉協議会	1回 検索システムの更新	ホームページ上の検索システムの社会資源の更新				
	地域の茶の間の立ち上げ支援	身近な場所で地域の特性にあった地域の茶の間などが開催できるよう、地域住民による立ち上げ支援を行う。	社会福祉協議会	3団体	2団体				
	地域の茶の間の世代間交流会の開催	平時からの顔の見える関係づくりのために、世代間での交流会を推進する。	社会福祉協議会	10箇所	5箇所				

分野別計画 地域づくり

基本目標 私たちが支えあい、助けあうまち

〔評価の指標〕 A. 目標を達成（概ね90%以上） B. ほぼ達成（概ね75%以上） C. 一部達成（概ね50%以上） D. ほとんど実施せず

目標	具体的な取り組み・事業	概要	担当部署	令和6年度(実績)	令和7年度計画	令和7年度実績	評価	コメント・課題等	備考
	関係機関と連携した地域の茶の間の支援	地域の茶の間などからの相談に対応するとともに、共有する個別課題を地域課題と捉え、地域住民や関係機関と共に解決を図る。	社会福祉協議会	個別の対応1件	個別課題は、関係機関につなげ、地域課題については、講座の開催や関係機関とともに検討する。				
	地域の茶の間への移動支援の検討	地域の茶の間などに参加するための移動について必要な支援を検討する。	社会福祉協議会	実施なし	移動支援が必要という声があった地域で検討を進める。				
(3) 個別・地域課題の解決に向けた取り組み									
	ひきこもりに関する講座や家族の居場所、関係機関連絡会などの開催	新潟市ひきこもり相談支援センターと連絡会を共催し、ひきこもりに関する相談状況を関係機関と共有し、連携体制を整える。また、ひきこもり当事者を抱える「家族の居場所」を開催し、日頃抱える家族の思いを共有し、当事者からの体験談を聞くことにより、家族の心の安定を図れるよう家族の居場所を開催する。	社会福祉協議会	連絡会 1回 家族の居場所 10回 本人の居場所 10回	連絡会 1回 家族の居場所 12回 本人の居場所 12回				
	買い物など移動支援の検討	南区の移動や外出に関する課題に対して必要な支援を検討する。	社会福祉協議会	生活支援サービスサミット 1回	地域の状況により必要な場合開催				
	コミュニティソーシャルワーカー（CSW）相談体制の充実	関係機関との連携を強化して相談体制の充実を図る。また、個別訪問等を重ねる中で信頼関係を構築し、課題の整理や解決に向けた取り組みを丁寧に行う。	社会福祉協議会	個別ケース検討会議適宜 ひとり親世帯及び生活困窮者世帯への食料支援 2回	個別ケース検討会議適宜 ひとり親世帯及び生活困窮者世帯への食料支援 3回				
(4) 避難行動要支援者に対する支援の充実									
	避難行動要支援者名簿と登録対象者の確認	自治会などに内容確認の協力をいただき、定期的に避難行動要支援者名簿の更新を行う。	健康福祉課 地域総務課	2回	2回				
	地域の避難行動要支援者登録対象者への意識付け	民生児童委員から協力をいただき、災害時に自力で避難できない方を対象に戸別訪問し、避難行動要支援者支援制度の周知や登録を図る。また、区だよりなどで同制度について掲載する。	健康福祉課 地域総務課	戸別訪問 1回 区だよりなどの掲載 3回	戸別訪問 1回 区だよりなどの掲載 2回				
	自主防災訓練を通しての要支援者支援訓練の実施	自主防災訓練における要支援者支援訓練の実施を推進します。	地域総務課	実施率 6割強	実施率 3割以上				